

右及報告也

明治廿九年一月二十日

角田名濤總督府參謀副長

大本營

伊東海軍參謀官殿

後備步兵第八聯隊長報告、討伐隊長報告、兵站監への命令
之ヲ略ス

早崎海門艦長報告

一月十二日
蘇澳

(十六日午後六時)

本月九日電報ヲ以テ報告致シ置キ又通り翌十日午前六時出艦蘇澳
ニ航行ノ途次龜山嶋ヲ砲撃スルノ目的ヲ以テ該嶋附近ニアルハ

2295

漁舟ニ近ツキ漁夫ヲ乗渡セシメ取込シタルニ該嶋ハ豫テヨリ噂
 高キ海賊ノ集合地ナルモ今聞蜂起シタル土匪ニ關係ナキモノ、
 如シ依テ漁夫五名ノ内二名ヲ本艦ニ留メ他ヲ小舟ニ帰ラシメ直
 チニ該嶋ニ至リ人家アル場処ニ陸戦隊ヲ上陸セシメ最キニ本
 艦ニ留メ置キタル二名ノ漁夫ヲ案内者トナリシメタリ然ルニ陸
 上ノ模様ハ豫想外ニシテ敢テ怪シムヘキ者モナク且口嶺島上ニ
 アル三四十戸ノ家屋ニ就キ一々取調ヲナシタルモ武器ノ如キモ
 ノハ一モ見當ラズ至テ寒村ニシテ只漁夫ノ住スルノミ尤モ頭圍
 ヨリ難ヲ避ケテ渡来シ居ルモノ七十一人<sup>内壯男僅カニ十余人
他ハ老幼ノ男女ノミ</sup>ア
 リ是等ハ頭圍ノ紳商トモ云フ可キ資格ヲ有スルモノ、如シ其人
 名職業ホニ就キテモ調査ヲ遂ケタルニヨリ追テ報告ニ及カベク
 歟
 前陳ノ如キ状況ニ付直チニ同嶋ヲ出航シ頭圍ニ至リ川口ヲ距ツ

ル凡ソ二千米突ノ処ニ至リ陸上ノ状勢ヲ窺フニ頗ル疑ハシク土
匪充滿スルモノ、如ク認メラレタルヲ以テ左岸ニ向ヒ砲撃セシ
ニ左岸北方ノ海岸ニ放テニ今所ニ旭旗ヲ翻シ其下ニ數多ノ人民
群集シ且ツ小舟ヲ浮フル用意ヲナスモノ、如シ依テ直チニ砲撃
ヲ止メタルニ該人民七八名小舟ニ乗シ来レルヲ以テ直チニ水檻
ニ乗ラシメ之ヲ取調タルニ彼等ハ最キニ横田陸軍中尉ヲ救護シ
タル心切ナル良民ニシテ其当時ノ模様ヲ説明シ且ツ同中尉自筆
ノ紙面ヲモ所持シ其偽リナラサルヲ以テ言中聊カ疑ヲ存スルモ
全ク突砲ヲ停止シ彼等ニ酒瓶ヲ共ニ放逐セリ彼等談話ノ大意
左ノ如シ

昨日宜蘭ヨリ日本兵二百名來リ頭圍ニアル匪徒四百名ヲ撃破
シ其二百ヲ殺シ横田中尉ヲ救ヒ直ニ宜蘭ニ引退セリ残賊ハ西
方十五里ノ山中ニ逃レ頭圍ハ良民ノミナリ云々

本日午前八時半新登田丸一個大隊ヲ搭載シ来リタルニヨリハ艦
ヨリ端舟ヲ出シ上陸ヲ助ケ兵員ハ午前中ニ上陸ヲ了リタリ該隊
ハ本日加礼遠ニ止マリ明日宜蘭ノ賊ヲ一掃スルノ見込ナル由水
艦モ明日早天宜蘭沿岸ニ至リ出来得ル限り勢援ヲナス見込ナリ
右及報告也

サ四号

各地賊徒首領ノ姓名

一、台北附近

(一) 艦脚ニ池水丸(祖師布連ニ住ス)藍八十(一名八十歳住居定マラズ松戸者ナリ)

右ノ二名ハ艦脚十惡ノ内ナリ

林慶(一名賊仔慶前ニ艦脚ニ住ス)陳大(艦脚履新街ニ住ス)

竹港尾街三十二番戸ニアリ

- 陳福(縣紳 八甲街ニ住ス) 李虎(前ニ縣紳ニアリ 林大周 翁并ニト)
- 黃呈瑞(又號仁ト名ク 縣紳書院ニ住ス 黃家大祖厝ニ住シ 前ニ清國失位官ト同ク 長政殿ノ失位也)
- 洪老祝(泉州ノ人ニシテ 黃呈瑞ノ重任タリ)
- (一) 下墩ニ潘心(蕃薯心ト名ク) 陳顥番
- (二) 頭前庄ニ曾玉
- (三) 北門口ニ吳滿榮
- (四) 坪頂庄ニ黃知勛(土匪ノ管官) 王國楨(土匪ノ管官)
- 一、淡水附近
- (一) 滬尾街ニ洪秋波(土匪ノ管官)
- 一、暗坑附近
- (一) 二城ニ林阿華(土匪ノ管ノ長)
- (二) 四城ニ陳水(土匪ノ管ノ長)
- (三) 呂安典(土匪ノ管ノ長)

名海命才三十四号

- (四) 擺接堡南勢角ニ岡阿日(土匪五宮ノ長)
(五) 橫溪ニ黃寬
一、三角湧附近
(一) 甯裡庄附近ニ廖雲藩(廖秀才) 大姑隘ヲ攻撃セント
セシ隊長
一、新竹附近
「タイホクホレイ」ニシヨウロク
「シタンテイジョウ」ノ山内ニ興勇
大山背附近ニ徐大新、溫石水(副首)
大山後ニ鍾石妹(鍾貞祿)
一、陳渡船、陳逢格(共ニ住所不明)

2300

命令 明治二十九年一月十八日 於台北

一、今日本島北部ニ蜂起セシ匪徒ノ首動者ハ清國厦門附近ニ在ル
モノ、如シ

二、貴官ハ直チニ厦門ニ回艦情況ヲ視察シ又時機ヲ計リ澎湖島打
狗安平ヲ巡視警備スベシ

但安平打狗港飛着ハ本官ニ報告スルト同時ニカニ師團長ニ
モ通報スベシ

台灣總督伯耆守山賢紀

千代田艦長伊藤常作殿

2301

名海報市五十九号

報告

一月廿日マテノ状況ハ前回報告ニ及置キ其後ノ状況左ニ開陳
仕ス

一月廿日軍艦嚴嶋無事基隆ニ着港別紙名海命市三十五号ノ命令
ニ基キ廿二日蘇澳ニ向ケ基隆ヲ出港セリ又集キニ情況視察ノ為
ノ清國厦門ニ回艦ヲ命セラレタル軍艦千代田ハ此日該処ニ着港
セリトノ電報ニ接セリ

討伐隊長草場中佐ノ卒ユル枝隊ハ残賊ヲ掃攘シツ、十九日大里
簡庄ニ進ミタルモ未タ集團セル敵ニ遇ハストノ電報アリ別紙亦
一号ノ如シ

總督府ヨリ内藤大佐ハ新店地方賊徒掃攘ニ關スル命令アリ別紙
亦二号ノ如シ

2302

又全府ヨリ混成サセ旅團長ハ宜蘭地方鎮定后該旅團ノエ兵ハ軍
路構築ニ從事スベシトノ命令アリ別紙サミ号ノ如シ

在新店內藤大佐ヨリノ電報ニヨレハ本月十九日サハ中隊將校宿
舎ヲ襲撃セント企テタル土匪七名ハ其証跡明瞭ナルヲ以テ之ヲ
捕獲シ以テ斬殺セリ又該處ニハ尚ホ多數ノ匪徒散在セル情况
アルニ依リ嚴密ナル搜查ヲナシ約五十名ヲ捕縛シ其内二十名ハ最
モ怪ムヘキ挙動アルヲ以テ目下拘禁取調中ナリト別紙サ四号之
レナリ

一月廿一日總督府ヨリ歩兵サ九聯隊サ一大隊長ハ該隊ノ一中隊
ヲ深坑街附近ニ派遣シ頭目ヨリ來ルベキ部隊ト合シ敗賊ヲ要撃
セシメ又大隊ノ残余ヲ以テ和尚洲及其附近ノ諸村落ヲ搜查スベ
シトノ命令ヲ察セラレタリ別紙サ五号之レナリ

一月廿二日同田土洋九監督ハ澎湖島ニ滞在セル廣兩乘負一統ヲ

該船ニテ佐世保軍港マテ便乗セシムベシトノ訓令ヲ發セラル別
 紙名海訓カ三十九号之レナリ
 一月十七日熊渡發混成カ七旅團ノ報告ニヨレハ全日未明宜蘭ヲ
 發シ約千四百五十ナル賊ノ楔守セシ柴田庄ニ用煤炉地附近ヲ攻撃
 シ頑強ナル抵抗ヲ受ケタルモ午前十時頃熊渡ヲ占領セリト別紙
 カ六号ノ如シ
 一月廿二日總督府ヨリ比志島兵站監ヘ八里金及金邑里地方ニヤ
 ル賊徒ノ掃攘ヲ謀ルベシトノ命令ヲ發セラレタリ別紙カ七号之
 レナリ
 一月廿二日混成カ七旅團年田參謀ヨリ頭岡古鎮ニ關スル報告ア
 リ別紙カ八号之レナリ
 今日在新店勝賀瀨大尉ヨリ内地土民ノ情況ニ關スル報告アリ別
 紙カ九号之レナリ

2304

一月廿四日在石碓街步兵九聯隊長及在深坑街步兵九聯隊長
四中隊長へ賊徒掃攘ニ關スル命令アリ別紙ヲ十号之レナリ
其他土匪ノ姓名(別紙ヲ十一号)、一月廿日附原川ヨリノ報告(別紙ヲ
十二号)及淡水、枋橋、大嵙崁圖各一葉別紙ニ添付ス
右及報告也

明治二十九年一月廿四日

首田台灣總督府參謀副長

伊東海軍參謀官殿

別紙ヲ一号、ヲ三号、ヲ四号、ヲ五号、ヲ六号、ヲ七号、ヲ八号、ヲ十号
及淡水、枋橋、大嵙崁圖ハ之ヲ略ス

カ二号

總督府命令

一月廿日
杵名北

内藤大佐へ

一其枝隊ハ新店近傍賊徒ノ掃攘ヲ終レハ歩兵亦九聯隊カ一大隊
長ニ命ジテ其一中隊ヲ新店ニ殘シ該地方一帯ノ鎮壓ニ任セシ
ノ他ハ名北ニ帰還シテ枝隊ノ編成ヲ解クヘシ其帰還ニ際シ別
ニ一部隊ヲシテ木柵庄ニ張犁庄ヲ経テ沿道諸村落ヲ搜查シ賊
徒ノ掃攘ヲ謀ラシムヘシ但シ新店ニ殘留スル中隊服務ノ詳細
ハ宮本少佐ニ豫合スヘシ

カ九号

在新店勝賀瀬大尉報告

一月廿一日 祭

2306

一、昨日午前憲兵ヲ安坑附近ニ出シ土民ノ情况ヲ偵察セシニ一意村落ノ燒棄セラルヲ恐レ我兵ニ対シ恭敬ノ意ヲ表セリ内心ハ計ルベカラス

二、土人ノ間諜ヲ三城、四城、五城附近ニ派遣シ密査セシニ匪首陳篤林全林阿幸逃去目下所在不明ナリ若シ還來ルニ村落ノ燒失ハ匪徒ノ招ク所トナシ土人懐力之ヲ憐シ來ルト談シ居レリ

三、青潭ニ匪首高嶽高吉康輝(百人長)黃樓(五十人長)ノ徒アリト密告スルモノアリ而三日中其所在ヲ確認シタル上捕縛スヘシ

四、士官ノ引ユル偵察ヲ木柵ト深坑間ニ出シ宜蘭方位ニ於ケル敗兵及ビ土民ノ情况偵察中ナリ

五、憲兵ヲ屈尺ニ派遣シ土情ヲ偵察中ナリ

六、当地其後ノ情况ハ人民大ニ警愕戰栗シ土民ノ一大部分ハ稍々安堵シ一部ハ慙ムカ如シ昨日ハ街上ニ食品買賣ノ市開ケタリ

七、昨十時ヨリ十二時頃、同深坑頭城方面ニ燎火ノ如キモノヲ
見タリホノ言ニ依レハ是匪徒ノ燎火ニシテ彼等ノ住家ヲ焼
カレ且ワ我軍ノ搜索密ナルカ爲ノ山間ニ逃レ夜間徒類ヲ募集
シ運動スルモ土民等後難ヲ恐レ應スル者ナク料食尽キ頗ル窮
窮ニ居レリト確信スル能ハス

十一

廿五

一、宜蘭地方

(一)員山保

内湖庄ニ 黃火木 林大旺 李阿嬰 李紅毛

新城庄ニ 程芋標 陳清吉 黃潤嘴

- 結頭份庄 = 李珠炉 吳紅毛 李阿亮 李烏頭
 隘灯城庄 = 李牛港
 礁溪庄 = 李阿六
- (2) 四圍保
 塗圃庄 = 林廣来 劉阿鳳 林溪潭 吳揮生 曾坑山
- (3) 二結保
 三結庄 = 林大北 林灯已 簡阿興 胡演 林婆梨
- (4) 宜蘭 = 林新旺 (南門街) 林粗皮 (林虎七ノ子)
- (5) 民壯圍堡 = 林德、林心娣、林牛党、莊俊木、陳太山
- (6) 徐祿、李艷成、李貓母、林老賊、林破瑤、林清泉、何国 (利沢簡)
 林艷 (大析尾) 陳得順 (頭圃大坑 姑 = 住々) 林連海、賴阿娣、林瑞連、莊俊木、
 莊福鬆、何望治 (利沢簡祖館 家長) 陳其山 (台北三角永ノ人)
- (7) 石頭圃庄、劉乞食、吳娣燦、

一、新竹附近

- (8) 北頭社庄ノ陳成、松樹門庄ノ莊阿厚(共ニ陳其山部下ノ將ナリ)、
陳石埤(羅東街ノ匪首、部下ノ將陳石泉、陳文秀(石泉ハ子、
文秀ハ父)、
陳石琳(子共ニ水底庄)、塙心庄ノ陳燦峰、仇詩亮(軍師)
- (9) 捕仔庄ノ林阿荖、芋埔庄ノ吳萬順、陳阿波(陳成ノ子)、李素、
- (1) 內草湖ニ康萬生
- (2) 三灣枝寮坑ニ藍炳麟
- (3) 大湖ニ陳石

カ十二号

一月廿日厦門ヨリ報告

一、当港ノ他ハ軍艦ニ隻ノ内一隻砲艦ハ同国水師提督ノ命ニ依リ
本月十六日厦門ヨリ解纜ニ金門島ニ至リ更ニ再ヒ同島ノ測量ニ

59
80

陸軍セリ他ノ一隻ノ軍艦ハ依然當港ニアリ本月十八日午前
ニ於テ假設水雷艇ニ向テ速射砲ノ演習ヲナセリ金門島再度測
量ノ結果如何ハ之ヲ探知次カニ報告セン

當港ニ於ケル同國軍艦ノ舉動ヲ悉末聞知セシ風説等ニ依リ察ス
レハ独ニハ必ス此地方(即廈門若々金若々鼓浪嶼)ニ於テ石炭貯蔵
所ナリ又ハ軍艦碇泊所ナリトシテ清國ニ向ヒ土地ノ占領ヲ圖
ルナラント思ハル

一泉州地方ニ遣ハセシ者昨十九日午後六時帰來シテ諸件ヲ報ス
林維源ハ泉州ニ至リ同城内牛仔堀景公館(貫氏ハ官吏ナリ其
名ヲ詳ニセス)ニ住セリ其用向ハ一ノ家宅ヲ買取ンカ為ナリ
但シ價ノ点ニ於テ相談合ハス更ニ漳州ニ赴ケリ是メ家屋買
取ノ為ナリト

林朝棟(應堂ト号)台灣人ニシテ維源ノ一族ナリ當時泉州城内

新港街ニ家ヲ借り住マ(其屋賃ハ年千金ト云フ)今回台北
 ノ乱ニ關係アリトノ説ヲナス者アリ本人ハ曾テ台湾ニ於テ
 官吏タリシ者ナリト云フ(目下本人ハ泉州ニアリ)
 十一月頃ニ於テ廣西人林壽山(武人ニシテ泉州ノ外委タリ卅
 三歳)ナル者台北ニ行ク又同時ニ泉州人林諫堂(曾テ泉州ノ巡
 捕頭タリ四十二歳)ナル者ハ鹿港ニ行タリ其用向未タ詳ナラ
 ズ風説ニテハ何カ怪シキ事ハナキカト思ハルト
 泉州ニテハ台北事変ニ付キ「ミン、バ、リ」(金把李)「ハ、ン、カ、ヨ
 シ」(三角永)等
 地方ニ於テハ黃老四、黃ヒヤウ、タム、(孝堂)「蕪カ、蕪俊」等ノ諸人
 カ巨魁ナリト傳フ
 泉州城ヨリ凡ソ清里五十里ヲ隔テ、塔底ト称スル一港アリ
 商船即チ「ジャン」大船約百五十隻ナリ去十二月以前ハ毎日六

七隻ツ、台湾ノ鹿港及點港地方ニ行ク者アリ乗客(十中ノ七八ハ勞役者ノ類ト云)甚多カリシカ十二月下旬頃ヨリハ乗客大ニ減シ今日ニ至テハ毎日一隻カニ隻位ツ、鹿港地方ニ貨物ヲ積載シテ行ク者アルノミ乗客ハ台湾ノ査察ヲ恐レ渡航スル者少シ但シ往々船主ト相談ノ上舟夫ト称シテ査察ヲ免ル者アリト云フ

泉州ニハ台湾ヨリ避難ノ商民甚多ク未タ歸計ヲナス者少シ是等ノ商民ハ今回台北ノ事件ニハ関係ナキカ如シ隨テ台湾ニ向テ何事ヲ聞ルト云フ風説モ聞カス

泉州附近ノ地方ニモ盜賊ノ横行甚シト

今朝九時頃独ニ軍艦二隻來港其内一隻ハ本月六日修理ノ爲メ香港ニ行タル「カイサ号」ニテ直ニ港内ニ投錨シ他ノ一隻ハ直ニ金門ニ向ヒ駛行セリト云フ以上合シテ独ニ軍艦ノ此地

方ニアル者大小四隻ニシテ内ニ隻ハ厦門ニ二隻ハ金門ニア
リ
今朝十時頃ヨリ当地ノ旗名ニ英國軍艦入港ノ旗ヲ揚ケタリ
然レモ未タ入港ナシ

台灣命令三十五号

命令

明治二十九年一月廿一日 於台北

一 軍艦嚴島ヲシテ基隆蘇澳沿岸ノ警備ニ充ツヘシ

台灣總督伯爵樺山資紀

常備艦隊司令官鮫島員規殿

2314

台海訓令三十九号

訓令

明治二十九年一月廿二日付台北

澎湖島ニ滞在セシ廣兩乗員一統ヲ其船ニシテ佐世保軍港マテ便乗
セシムヘシ

台湾總督伯爵樺山資紀

土洋丸監督岡田平次殿

2315